



とら寅年はわが年

今年わたしは.....



「寅年」生まれの方6人に、
今年の抱負をお聞きしました。



須貝いづみさん
(高田)

1974年(昭和49年)生まれ

月日の経つのは早いもので、関川村に嫁い
でから十四年、三回目の寅年を迎えました。
二人の子どもにも恵まれ、家庭と仕事の両立
で忙しい毎日ですが、家族や友人の支えがあ
り、充実した日々を過ごしています。
これからも、自然豊かで子どもたちを大切
に育んでくれる関川村で、子どもたちの成長
を楽しみながら私自身も色々な面で一緒に成
長していきたいです。そして、今年こそ忙し
い日々の中にも自分の時間をつくり、新しい
ことにも挑戦したいです。



平田大之さん
(大島)

1986年(昭和61年)生まれ

生まれ育った大好きな関川村で、二度目の
年男を迎えさせていただくことができました。
これもひとえに、僕をこれまで大切に育てて
くださった家族と、この素晴らしい関川村の
環境のおかげです。いつも本当にありがとう
ございます。
生まれてから今日までの毎日を、幸せに過
ごしています。この感謝の気持ちを近い将来、
関川村に具体的な形で代えさせていただきます
のでよろしくお願ひします。



長
宏美さん
(宮前)

1998年(平成10年)生まれ

今年には私にとつて、小学校生活最後となり
ます。今年から新しい関川小学校の六年生に
なります。学校のリーダーとして、みんなを
まとめていきたいです。勉強もどんどんむず
かしくなるので、がんばりたいです。
習っているピアノも、十二月に歌のコンク
ールに出られて、とてもうれしかったです。
今年も発表会やコンクールに出られるように
練習をがんばりたいと思います。新しい小学
校では、友だちをたくさん作り、充実した一
年にしたいです。



渡邊
榮さん
(沢)

1938年(昭和13年)生まれ

古希を過ぎ、六回目の干支を迎えました。
私が小学校に入学したのは昭和二十年終戦の
年でした。敗戦、集落の大火で家の焼失と不
運なこともありましたが、戦後の目覚ましい
経済発展により、便利な時代になりました。
私は夢が大好きです。常に叶わぬことでも、
いとも簡単に成し遂げたり、悪夢は目を覚ま
せば一瞬に消去。宝くじを一枚買って大当た
り億万長者。こんな初夢成就を楽しみに、マ
イペースで過ごしたいと思う今日この頃です。



近
ヨシ子さん
(上関)

1950年(昭和25年)生まれ

毎月若い人たちと仕事をしたり、足手まと
いになりながらも、よさこいソーランを頑張
って踊ったりして、まだまだ若い気でいたの
に、いつの間にか五回目の寅年を迎えてしま
いました。それも人生節目の年、還暦です。
最近は何相応に足や腰が痛くなったりで、
病院へ通うことが多くなりました。今さらな
がら「健康であることのありがたみ」を実感
しています。
これからは、あまり無理をせず、ゆとりを
もって楽しく毎日を過ごせたいと思います。



加藤克徳さん
(鮎谷)

1962年(昭和37年)生まれ

昨年のことです。ある記入様式の年令欄に、
なんの迷いもなく「四十八歳」と書いていま
した。自分の年令も分からなくなるほど歳を
とつたようです。(笑)
五年の昨年は、体力と健康の増進のために
高坪山を毎日のように登りました。おかげで、
ソコソコの減量に成功しました。高坪山の山
腹には、丑寅年生まれの守り本尊である虚空
蔵様があります。そんなことで、寅年の今年
も、引き続き登り続けたいと思っています。